

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツ学科		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義
科 目 名	検査・測定と評価Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	岡山 雄太	実務経験とその関連資格	大阪医療技術学園専門学校附属鍼灸センターにて鍼灸師として施術担当ならびに附属トレーニング施設にて運動指導を3年。ノブホテル甲子園フィットネス課にて評価ならびに運動指導2年2ヶ月。オフィスコチにて評価ならびに運動指導を2年。はり師・きゅう師、アスレティックトレーナー			
《授業科目における学習内容》						
アスレティックトレーナーが評価を進める上で必要となるスポーツ動作の観察・分析について、その目的と意義を理解し、6つのスポーツ基本動作についてそのバイオメカニクス、動作に影響を与える機能的と体力的要因を説明できる能力を習得する。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験:70%、出席率:20%、小テスト:10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト5「検査・測定と評価」						
《授業外における学習方法》						
解剖学、運動学、運動生理学などの基礎知識が不可欠な為、これらの基礎知識について繰り返し復習しておくこと						
《履修に当たっての留意点》						
具体的に動作の評価ができるまでが到達目標となっている為、講義・実技ともに重要となります。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義 授業を通じての到達目標	評価におけるスポーツ動作の観察・分析についてその目的と意義を説明できる。		公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト5「検査・測定と評価」		
	各コマにおける授業予定	オリエンテーション、評価におけるスポーツ動作の観察・分析の目的と意義				
第2回	講義 授業を通じての到達目標	歩行動作のバイオメカニクスを理解し、説明できる。		公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト5「検査・測定と評価」	機能解剖学の復習	
	各コマにおける授業予定	歩行動作のバイオメカニクス				
第3回	講義 授業を通じての到達目標	歩行動作に影響を与える機能的・体力的要因を説明できる。		公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト5「検査・測定と評価」	歩行動作のバイオメカニクスの復習	
	各コマにおける授業予定	歩行動作に影響を与える機能的・体力的要因				
第4回	講義 授業を通じての到達目標	外傷・障害の発生機転となる歩行メカニズムを説明できる。		公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト5「検査・測定と評価」	歩行動作のバイオメカニクスの復習	
	各コマにおける授業予定	外傷・障害の発生機転となる歩行メカニズム、歩行観察の実践				
第5回	講義 授業を通じての到達目標	走動作のバイオメカニクスを理解し、説明できる。		公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト5「検査・測定と評価」	歩行動作について理解しておく。	
	各コマにおける授業予定	走動作のバイオメカニクス				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	走動作に影響を与える機能的・体力的要因を説明できる。		公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト5 「検査・測定と評価」	走動作のバイオメカニクスの復習
	各コマにおける授業予定	走動作に影響を与える機能的・体力的要因			
第7回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	外傷・障害の発生機転となる走動作のメカニズムを説明できる。		公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト5 「検査・測定と評価」	走動作のバイオメカニクスの復習
	各コマにおける授業予定	外傷・障害の発生機転となる走動作のメカニズム、走動作の観察			
第8回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	ストップ・方向転換動作のバイオメカニクスを説明できる。		公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト5 「検査・測定と評価」	歩行、走動作のメカニズムを理解しておく。
	各コマにおける授業予定	ストップ・方向転換動作のバイオメカニクス			
第9回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	ストップ・方向転換動作に影響を与える機能的、体力的要因を説明できる。また、外傷・障害の発生機転を理解する。		公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト5 「検査・測定と評価」	ストップ・方向転換動作のバイオメカニクスを理解しておく。
	各コマにおける授業予定	ストップ・方向転換動作に影響を与える機能的、体力的要因			
第10回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	跳動作のバイオメカニクスを理解し、説明できる。		公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト5 「検査・測定と評価」	ストップ動作を理解しておく。
	各コマにおける授業予定	跳動作のバイオメカニクス			
第11回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	跳動作に影響を与える機能的・体力的要因を説明できる。また、外傷・障害の発生機転を理解する。		公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト5 「検査・測定と評価」	跳動作のバイオメカニクスの復習
	各コマにおける授業予定	跳動作に影響を与える機能的・体力的要因、外跳動作の観察			
第12回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	投動作のバイオメカニクスを説明できる。		公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト5 「検査・測定と評価」	投動作の映像資料を調べておく。
	各コマにおける授業予定	足関節の運動学、関節可動域検査			
第13回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	投動作に影響を与える機能的・体力的要因を説明できる。また、外傷・障害の発生機転を理解できる。		公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト5 「検査・測定と評価」	投動作のバイオメカニクスを理解しておく。
	各コマにおける授業予定	投動作に影響を与える機能的・体力的要因、投球動作の観察			
第14回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	あたり動作のバイオメカニクスを説明できる。あたり動作に影響を与える機能的・体力的要因を説明できる。		公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト5 「検査・測定と評価」	あたり動作の映像資料を調べておく。
	各コマにおける授業予定	あたり動作のバイオメカニクス、あたり動作に影響を与える機能的・体力的要因を説明できる。			
第15回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	各動作における観察・分析ができ、アスレティックトレーナーとして評価ができる。		公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト5 「検査・測定と評価」	後期で行なった内容の復習
	各コマにおける授業予定	まとめ			